

こんにち  
「今日を祝う」ステージ

◆ステージテーマ『400年祭り絵巻』

土崎港まつりから竿燈まつり、市民が熱く盛り上がる季節、「今日を祝う」夏のステージが繰り広げられます。祝祭をテーマに市内、県内、姉妹友好都市の祭りが繰り広げられます。

◆ステージ開催時期：平成16年7月～8月

《400年祭り絵巻》

実施時期：平成16年7月31日(土)～8月8日(日)

実施主体：400年記念事業実行委員会・関係団体ほか

実施概要：400年記念式典前夜祭から竿燈まつり期間を会期に、拠点センター・千秋公園等を会場に県内の祭り、姉妹友好都市の祭りのほか、新・秋田音頭イベントなどを繰り広げます。

《400年記念式典・前夜祭》

実施時期：平成16年7月31日(土)・8月1日(日)

実施主体：400年記念事業実行委員会ほか

実施概要：秋田市建都400年記念事業のコアイベントです。

秋田市内外からゲストを迎え、前夜の幕開けから、式典当日の閉幕まで昼夜にわたり各種催しが拠点センターや千秋公園を中心に繰り広げます。

【基本イメージ】

千秋公園本丸にかけて、秋田市内・県内各市町村・姉妹友好都市から持ちよられたトーチに点火されます。式典前夜祭の始まりを告げる合図です。

点火と共に、市内各所から一斉に祝賀花火が打ち上げられます。

本丸特設ステージでは、来賓の方々や来場者を前に、佐竹秋田市長の秋田市建都400年を祝うメッセージが高らかに読み上げられます。

その姿は拠点センターの大型スクリーンに映し出されます。土崎港まつりの曳き山車が運行されます。花輪ばやし、角館飾山ばやしも花を添え、秋田3大ばやしの競演です。3つの会場では夜を徹して祝賀演技、演奏が繰り広げられます。秋田県出身の著名人や県人会の方々も駆けつけ、建都400年を祝います。

明けて式典当日。主会場は拠点センターのアトリウム空間に移されます。

400年の悠久の時をイメージしたプロローグ演出、音楽隊・合唱団による祝賀演奏、来賓や著名人による祝賀メッセージが紹介され、竿燈祝賀演技と続きます。

クライマックスは佐竹秋田市長による『平成版三十六歌仙』のお披露目です。

会場は移って千秋公園本丸。幕を張り巡らした野外会場で祝賀会が厳かに催されます。秋田県内の美味、美酒が来賓の方々に振る舞われます。

この丸、拠点センター会場に詰め掛けた市民が祝賀気分酔いしれます。

《建都400年記念『漫画』秋田市400年ものがたり(仮称)刊行》

実施時期：平成16年7月

実施主体：400年記念事業実行委員会

事業概要：制作／秋田市建都400年記念事業実行委員会、発売元(予定)／秋田魁新報社、サイズ(予定)／A5(210mm×148mm)版約200～220頁(一部カラー)

※市内図書館や学校等へ配布するほか、県内書店等においても販売します。

制作スタッフ：原作／土居輝雄(歴史作家)、作画／倉田よしみ(漫画家)、監修／秋田市・秋田魁新報社